

関係各位

7月は「川」と「海」の記念月！

知られざる巨大インフラを野口健とひもとく特別番組

7月7日(月) 18時30分放送

千葉テレビ放送株式会社（本社:千葉県千葉市、代表取締役社長:青柳 洋治、以下:チバテレ）は、2025年7月7日の「川の日」、2025年7月21日（7月の第3月曜日）の「海の日」に合わせた特別番組を7月7日(月)18時30分から放送します。

異常気象や災害のリスクが高まる今、川や海のインフラは私たちの暮らしを守る“縁の下の力持ち”です。その巨大で精密な仕組みに注目が集まり、いま「インフラツーリズム」として実際に見学・体験する動きも広がりつつあります。番組ではアルピニストで千葉県と山梨県の二拠点生活をする野口健さんとともに100年後、200年後まで残したい超巨大なものを調査し、「ミライへの遺産」に値するかを判定します。



■ 番組名

川の日・海の日スペシャル

超巨大！ミライへの遺産

世界に誇るとえらいもの集めました

■ 日時

7月7日（月）18：30～19：30

放送後 [チバテレ公式YouTube](#)にて配信

■ 内 容

今、川や海にある超巨大なもの（インフラ）を見に行くツアーが大人気！実は、それらは日本が世界に誇る技術力の結晶なのです。そこで番組では、100年後、200年後まで残したい「ミライへの遺産」候補として、野口健さんを隊長とするキッズ探検隊の二人が今話題の超巨大なものを調査！緑の中のピラミッド「ハッ場ダム」や世界最深の地下神殿といわれる「首都圏外郭放水路」などキッズ探検隊が報告するVTRを見ながら隊長の野口健さんが「ミライへの遺産」に値するかを判定します。またスタジオでは日本大学名誉教授の畔柳昭雄先生が各インフラの役割を解説。野口健さんと共に水の大切さや防災について学び、自然の恵みを有効活用しながら自然との共存、それらを未来へつなぐことの大切さを伝えます。





野口 健（のぐち・けん）

アルピニスト／環境保護活動家

1973年生まれ千葉と山梨の二拠点生活。七大陸最高峰登頂を最年少記録（当時）で達成したアルピニストとして知られる一方、ヒマラヤの清掃登山をはじめ、国内外での環境保全活動にも長年取り組む。特に「自然と人との共生」をテーマに、富士山の清掃活動や防災・減災への提言を精力的に行う。千葉県とは深い縁があり、2009年から12年間にわたり千葉県環境大使を務め、県内の環境啓発活動にも貢献。災害リスクが高まる現代、自然の恵みと脅威のはざままで人々の暮らしを支える巨大インフラの重要性にも注目し、全国各地で講演・現地視察を行っている。

<コメント>

今回番組を通して改めて感じたのは、普段何気なく目にしている景色の中に、実はこれほどまでに巨大なインフラが溶け込んでいるということです。世界中を旅してきましたが、気づかずに通り過ぎていた場所も多かったのだと実感しました。これからは、ふとした瞬間にその存在に目を留めることができるかもしれません。今日紹介できたのはほんの一部ですが、きっと皆さんの身近にも、環境に配慮しながら私たちを守り続けるインフラが存在しています。この番組が少しでも関心を向けるきっかけになれば嬉しいです。



畔柳 昭雄（くろやなぎ・あきお）

日本大学名誉教授／建築学・親水工学専門家

長年にわたり日本大学工学部で教鞭を執り、河川工学・防災工学・水資源管理の研究と技術者育成に尽力。豪雨災害や洪水リスクが高まる中、安全な水辺空間の整備や流域治水の重要性を説き続けてきた。国・自治体の防災対策委員や技術審査委員も歴任し、現場と学問の両面から水防災の最前線を支えている。今回の番組では、巨大インフラが果たす役割やその背後にある技術・哲学について、分かりやすく解説する。

<コメント>

川や海などでは厳しい環境条件の下にインフラ工事が行われていますが、そこには研究者の探究心や工事関係者の技術力があり、豊かな水辺を創造してきています。今後とも水辺づくりへの思いが続く限り、私たちの未来は豊かなものになるものと思います。